

全固体電池の最前線： 基礎，課題，将来展望

Leading edge of all-solid-state batteries:
Basics, challenges, and future prospects

ポスト・リチウムイオン二次電池として注目されている安全性の高い全固体電池にターゲットに絞り、その基礎から現状の課題、将来展望までを、電気化学を専門としない研究者にとってわかりやすく概観することができるシンポジウムとして企画しました。材料、デバイス作製、分析・評価、理論・計算のそれぞれの最前線で研究を進める研究者に招待講演をお願いするとともに、最新の研究成果を一般講演で募りシンポジウムを構成します。全固体電池に関する技術の最新動向や課題、あるいはビジネスチャンスを理解し、研究を推進し関連分野の振興を図ることを目的とします。

日時：2020年3月13日(金) 13:30～18:00 [予定]
会場：上智大学・四谷キャンパス

招待講演 (敬称略・五十音順, 仮題)

射場英紀 (トヨタ自動車)

100年に一度の大変革を先導するオープンイノベーション

入山恭寿 (名古屋大学)

高性能全固体電池の創成に向けた界面イオンダイナミクス

高田和典 (NIMS)

固体電池材料界面におけるイオン伝導現象

白木將 (日本工大)

薄膜を利用した全固体電池の電極/電解質界面研究

今井英人 (日産アーク)

全固体電池界面の構造、電子輸送、イオン輸送

Randy Jalem (NIMS)

Bayesian-Driven First-Principles Calculations for
Accelerating Exploration of Fast Ion Conductors



一般講演
数件募集

世話人：福田めぐみ (日本工大) 小川修一 (東北大) 住友弘二 (兵庫県大) (順不同)

問合せ先：sumitomo@eng.u-hyogo.ac.jp